

警報継続に伴うお願い

警報期間中は次の3点を守ってください
(高齢者への感染につながらないように特に注意)

- [1] 感染拡大が見られる他都道府県との往来(出張、帰省等)は、さらに慎重に判断し、極力控える
 - ・ 県外と往来しなければならない場合は、飲み会や接待を伴う飲食は控える

- [2] 期間中は、普段顔を合わせない人との飲み会・食事は、極力控える
 - ・ 単に会う場合でも、以下を守る
体調が悪い場合は会わない(症状消失後も2日は×)
人数を絞る／短時間で会う／距離を取る／マスクは外さない

- [3] 歓送迎会等飲酒を伴う会合を実施する場合は、感染防止対策を徹底
 - ① 体調が悪い場合は参加しない(症状消失後も2日は×)
 - ② オンライン会合を検討する
 - ③ 人数を絞る／なるべく普段から一緒にいる人と
 - ④ 短時間で行う(二次会は行わない)
 - ⑤ 距離をとる(斜め向かいに座る等、配置を工夫)
 - ⑥ マスク、手指の消毒等の感染防止対策を徹底

概ね2週間毎に、感染状況及び呼びかけの評価を行う

- まもなく進学・就職・転職・転勤等の春の移動の時期を迎えます。
- 安心して新生活のスタートを切るために、県外から本県にお越しの際は、以下の点にご注意ください。

【移動前 1 週間程度】 懇親会、飲み会、多人数飲食は控えましょう

感染リスクが高まる「5つの場面」をご家族全員で避け、「新しい生活様式」を徹底していただきますようお願いいたします。

【移動 2 日前～移動当日】 発熱等に注意！ 受診徹底と来県延期を！

ご家族に発熱等の有症状者がいる場合は、移動を延期いただきますようお願いいたします。（症状消失後も 2 日間は移動は×）

【移動後 1 週間程度】 感染の可能性を考えて静かに過ごしましょう

来県後も健康観察を行っていただき、感染の可能性を考えて「新しい生活様式」を徹底いただくとともに、会合等により人と会うのをできるだけ避けるなど、静かに過ごしてください。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



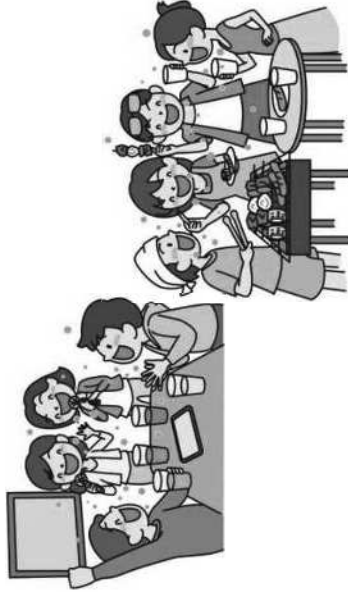
場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクログ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



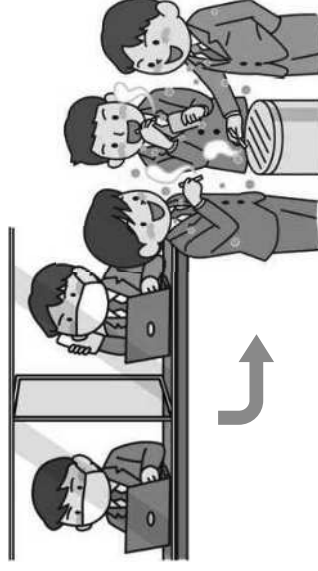
場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



○ この春の歓送迎会については、感染防止対策に加え、特に以下の点を守っていただくようお願いいたします。

- ◆ 宴会を行う場合は、以下の形式で行いましょう
 - ・ 着座（立食・席移動は控える） ・ お酌はNG
 - ・ 定員50%以下（座席も離して） ・ 短時間で行う
 - ・ 人数を抑える
- ◆ 店舗は県の「新型コロナウイルスお知らせシステム」の導入をお願いいたします

【当日】体調が悪いときや回復直後は、熱がなくても参加不可を徹底!
ささいな症状でもリスクを考えて参加しないようお願いいたします

【実施後】体調が悪化したら受診・検査相談を徹底!

体調悪化時は県受診・相談センターに連絡をお願いいたします

【県受診・相談センター】025-256-8275（毎日24時間対応）